

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

応募分野 : プロフェッショナル 未来テクノロジー人材枠
(選択してください)

1 応募者情報

■在籍高等学校等

2020年4月に在籍する高等学校等			
都道府県	国公立	学校名(正式名称)	
愛媛県	国立	新居浜高等専門学校	
学科・コース		学校の種別(選択制)	
電子制御工学科		全日制	

■氏名・生年月日等

フリガナ	ニノミヤ			ソラ		
氏名	二宮			そら		
生年月日 (西暦表記)	2003	年	10	月	1	日生
性別	女					
学年 (2020.4.1時点)	高校等	2	年	居住都道府県	愛媛県	

■語学力

テスト・検定名	スコア・級	受検時期(西暦表記)		
英語検定	準2級	2018	年	6月
TOEIC Bridge	148点	2019	年	11月
			年	月

■過去の海外経験

目的(選択制)	期間(西暦表記)						国・地域		
留学	2017	年	8	月	～	2017	年	8月	アメリカ
---選択してください---		年		月	～		年	月	
---選択してください---		年		月	～		年	月	

■各種活動における実績【任意・3つまで】

※ 文化・スポーツ・社会活動、特技等における主な実績や活動状況を記入してください(語学以外の分野でも構いません)。

実績・活動状況
地域のボランティア団体に所属し、清掃や、行事の企画運営などに関わっています。
デジタル技術検定4級

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

2 本人確認欄

各要件を確認後、左欄にチェックマーク (✓) を記入してください。

(1) 派遣留学生の要件

✓	要 件	確認箇所
<input checked="" type="checkbox"/>	日本国籍を有する又は日本への永住が許可されている生徒等である。	—
<input checked="" type="checkbox"/>	在籍する高等学校等において、卒業（高等専門学校専攻科においては修了）を目的とした課程に在籍する生徒等であり、留学終了後、在籍する高等学校等に戻り学業の継続又は卒業をする生徒等である。	—
<input checked="" type="checkbox"/>	インターンシップ等での報酬や他団体等から留学のための奨学金を受ける場合は、その総額が、本制度による奨学金の総額を超えない生徒等である。	留学計画書 P. 5 【3-2 他の奨学金の活用の有無】
<input checked="" type="checkbox"/>	本制度の高校生コースにおける第1～5期派遣留学生、地域人材コース高校生等枠の第9～11期派遣留学生でなく、かつ地域人材コース高校生等枠の第12期・13期に応募していない生徒等である。	—
<input checked="" type="checkbox"/>	応募生徒等の世帯における「所得を証明する書類」を提出し、家計基準の判定を学校へ依頼する。	応募生徒等の世帯における 所得を証明する書類 (源泉徴収票・確定申告書等)

(2) 留学計画の要件

✓	要 件	確認箇所				
☑	2020 年 7 月 1 日から 2021 年 3 月 31 日までの間に諸外国において留学が開始される計画である。	留学計画書 P. 4 ～ 5 【3－1 留学先について】				
☑	<u>【2021 年 3 月に在籍高等学校等を卒業予定（または高等専門学校 3 年次を修了予定）である生徒等のみ】</u> 2021 年 3 月 31 日までに日本に帰国（到着）する留学計画である。	留学計画書 P. 4 ～ 5 【3－1 留学先について】				
☑	諸外国における留学期間が、下表の日数を満たす計画である。 <table><tr><td>分野名</td><td>留学期間</td></tr><tr><td>プロフェッショナル</td><td>14～106 日間</td></tr></table>	分野名	留学期間	プロフェッショナル	14～106 日間	留学計画書 P. 4 ～ 5 【3－1 留学先について】
分野名	留学期間					
プロフェッショナル	14～106 日間					

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

✓	要件	確認箇所				
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>留学先における受入機関（留学先機関）があり、下表の規定を満たす計画内容である。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分野名</th> <th>活動内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>プロフェッショナル</td> <td> <p>現在学んでいる専門知識・スキル等を生かして、あるいは将来的に携わりたいと考える領域について、実地研修やインターンシップ等を通じて専門知識やスキルの習得を目指すもの。</p> <p>または、数理情報科目や IT の素養を持ち、将来的に携わりたいと考えるテクノロジー領域（プログラミング、制御技術、ロボティクス、Web サービス・デザイン、モバイルアプリ開発等）に関する学修やインターンシップ等の実践活動を行うもの。特に上記を「未来テクノロジー人材枠」とする。</p> </td> </tr> </tbody> </table>	分野名	活動内容	プロフェッショナル	<p>現在学んでいる専門知識・スキル等を生かして、あるいは将来的に携わりたいと考える領域について、実地研修やインターンシップ等を通じて専門知識やスキルの習得を目指すもの。</p> <p>または、数理情報科目や IT の素養を持ち、将来的に携わりたいと考えるテクノロジー領域（プログラミング、制御技術、ロボティクス、Web サービス・デザイン、モバイルアプリ開発等）に関する学修やインターンシップ等の実践活動を行うもの。特に上記を「未来テクノロジー人材枠」とする。</p>	<p>留学計画書 P. 6～7 【3-3 留学の概要について】</p> <p>留学計画書 P. 10～11 【7 留学プログラムの概要】</p>
分野名	活動内容					
プロフェッショナル	<p>現在学んでいる専門知識・スキル等を生かして、あるいは将来的に携わりたいと考える領域について、実地研修やインターンシップ等を通じて専門知識やスキルの習得を目指すもの。</p> <p>または、数理情報科目や IT の素養を持ち、将来的に携わりたいと考えるテクノロジー領域（プログラミング、制御技術、ロボティクス、Web サービス・デザイン、モバイルアプリ開発等）に関する学修やインターンシップ等の実践活動を行うもの。特に上記を「未来テクノロジー人材枠」とする。</p>					
<input checked="" type="checkbox"/>	<p>留学計画に「自主活動」及び「アンバサダー活動」が含まれている。</p>	<p>留学計画書 P. 8 【4 留学中の活動】</p>				

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

3 留学計画

3-1 留学先について

留学計画の作成にあたっては、募集要項「6(2) 留学計画の要件」を満たすことを確認してください。

留学計画の要件を満たさない計画は審査の対象外となりますので注意してください。

- ※1 地域区分の詳細は、募集要項(別紙3)「留学先地域の区分」を参照してください。
※2 留学期間は、「②留学先機関での活動開始日」～「③留学先機関での活動終了日」の日数となります。
以下の日数を満たしていることをご確認ください。
詳しくは『応募の手引』P.3～4をご覧ください。

分野名	留学期間
プロフェッショナル	14～106 日間

1ヶ所目	国・地域名	フィリピン				都市名	セブ島			
	地域区分(※1) (選択してください)	(3) アジア								
	留学先機関名	Kredo IT Abroad								
	留学先機関への 申込者 (当てはまるものを選択)	(2) 保護者								
		(4)、(5)の場合、社名等を具体的に記載してください。								
	① 現地到着日	西暦	2020	年	8	月	2	日		
	② 留学先機関での 活動開始日	西暦	2020	年	8	月	3	日	留学期間	
③ 留学先機関での 活動終了日	西暦	2020	年	9	月	28	日	(②～③の間の 日数を記入)	57	日間
④ 現地出発日	西暦	2020	年	9	月	29	日			

* 複数の国・地域・留学先機関への留学を希望する場合は、下欄に記入してください。

2ヶ所目	国・地域名					都市名				
	地域区分(※1) (選択してください)	---選択してください---								
	留学先機関名									
	留学先機関への 申込者 (当てはまるものを選択)	---選択してください---								
		(4)、(5)の場合、社名等を具体的に記載してください。								
	① 現地到着日	西暦		年		月		日		
	② 留学先機関での 活動開始日	西暦		年		月		日	留学期間	
③ 留学先機関での 活動終了日	西暦		年		月		日	(②～③の間の 日数を記入)		日間
④ 現地出発日	西暦		年		月		日			

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

3 ヶ 所 目	国・地域名					都市名				
	地域区分(※1) (選択してください)	---選択してください---								
	留学先機関名									
	留学先機関への 申込者 (当てはまるものを 選択)	---選択してください---								
		(4)、(5)の場合、社名等を具体的に記載してください。 <div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>								
	① 現地到着日	西暦	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	年	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	月	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	日		
	② 留学先機関での 活動開始日	西暦	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	年	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	月	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	日	留学期間	
	③ 留学先機関での 活動終了日	西暦	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	年	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	月	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	日	(②～③の間の 日数を記入)	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div> 日間
④ 現地出発日	西暦	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	年	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	月	<div style="border: 1px solid black; width: 40px; height: 20px;"></div>	日			

※ 留学期間以外の現地滞在日数が前後合わせて1週間以上になる場合は、下記の項目を必ず記入してください。

① 滞在先の名称	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>
② 滞在理由(活動内容等)	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>

3-2 他の奨学金の活用の有無

(1) 他の団体等から留学のための奨学金の給付を受けている、または、受ける予定がありますか。

当てはまるものを選択してください。

(1) なし

(2) (1) で「2 申請中」または「3 受給中」を選んだ場合は、その奨学金を支給する機関・団体名と金額を記入してください。

支援機関・団体名	<div style="border: 1px solid black; height: 20px; width: 100%;"></div>	
受給(予定)金額	<div style="border: 1px solid black; width: 150px; height: 20px;"></div>	円

※ 下記に該当する生徒等は本コースに応募することができませんのでご注意ください。

- ・他団体等から支給される留学のための奨学金の総額が、トビタテ！留学 JAPAN による奨学金の総額（募集要項 別紙2-1、別紙2-2 参照）を超える生徒等
- ・文部科学省が実施する「社会総がかりで行う高校生国際交流促進事業」で支援金を受ける生徒等

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

3-3 留学の概要について

あなたの留学計画にタイトルを付けてください。

留学計画のタイトル

変化の早い現代社会で活躍できる技術者になるために

留学計画の概要（全体像）について、下記の2つのポイントを踏まえながら記入してください。

- ① 留学の目的は何か。
- ② ①を達成するため、留学先で学びたいこと・経験したいことは何か。

1. 留学の目的

- ① プログラミングの学習に集中し知識を深め、それらの知識を活かし実際に開発などをする。
- ② 今日のグローバル社会で求められている技術者像は何か、そのような技術者になるためには何が必要なのかを調査する。
- ③ 異なる価値観や考え方を持つ人たちと出会うことで自身の視野を広げ、今日のグローバル社会で必要とされる国際的な感覚を養う。
- ④ 語学力を成長させる。また、相手と英語でコミュニケーションが取れるようになる。

2. 留学先で学びたいこと・経験したいこと。

① 私は夏休みの頃からプログラミングを学習しています。現在は実際にWebページを作成したり、競技プログラミングのコンテストに参加したりしています。他にも勉強していることが色々ありますが、その中でプログラミングの面白さや難しさを実感しています。私は、利用者に合った効率的で身につけやすい学習を提供できたり、利用者が学習方法を自由にカスタマイズできたりするようなWebアプリを作りたいと思っています。それを作るためにはデータベースやバックエンド等の知識、技術以外にも、AIに関する知識や技術を身につける必要があります。そのために留学では、現在不足しているプログラミングの知識や技術を身につけ高めること、今ある知識をさらに広げ深めていくことを目標とします。また、英語で授業を受けるため難易度は上がりますが、実践的な英語力を身につけることができると思います。重要な最新のITに関する情報は英語で発信されることが多いため、英語で情報を得られるようになることで新しいことを早く身につけることができようになり、変化の早い現代に対応することができるようになれると思います。

② 今日のグローバル社会で必要とされる技術者になるためには、多くの経験がある、国際規模の広い視野をもつ、英語でコミュニケーションが取れるということ以外にも私が知らない多くのスキルが求められていると思います。今回の留学では実際に出身国の違う人たちと働いている人に、グローバル社会で必要だと思うスキルとは何かということなどを聞きたいと思っています。今の社会で何が必要で、どんな技術者が求められているのかを探し、リアルタイムな情報を手に入れることでより社会に貢献できる技術者像を見つけたいです。

③ 留学中は異なる文化の中で生活すること、また、IT留学が盛んなセブ島には様々な人

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

ちが集まってくることなどから、異なる価値観や考え方を持つ人に出会うことも多いと思います。普段の授業やそれ以外の活動の中でそのような人たちと積極的に関わり、相手や相手の国の文化などへの理解を深めたいと思います。自分とは違う考えを受け入れ、様々な考え方があることを知ることで多くの視点から物事を考えられるようになりたいと思っています。またそのような中で自然とコミュニケーション能力が培われ、様々な場面で冷静に対応する力もつくと思います。自身の可能性を広げ、国際的な視点を持って物事を考えられるようになることを目指します。

④ 私は中学2年生の時にアメリカで10日間のホームステイを経験しました。その時に、学校で習う英語は「書く」、「読む」ことに特化していてコミュニケーションを取るための英語には直結していないことに気づきました。今日のグローバル社会では英語でコミュニケーションが取れることは必須のスキルになると考えています。今回の留学では授業を英語で受け、英語が公用語の一つであるフィリピンで生活する際に英語でコミュニケーションをとることになると予想されるため、IT関係の英語力とともに、日常生活で使われるような英語力も伸ばすことができると思います。

3-4 留学後の将来像について

留学で学んだことを将来にどのように生かしていきますか。

・留学先で学んだ知識や経験を、日本に帰国してからの学習やWebアプリ制作などに活かし、さらに知識を広げ深めていきます。また、それらの知識から思い通りのアプリなどを作れるようになることと、国際的な視野を持ち様々な面から物事を考えられるようになることで、人に必要とされる「新しい」ものを自ら提案でき、オリジナルのものを作れる技術者になれると思います。

・英語を使えるようになるために「書く」「読む」「聞く」「話す」こと、すべてできるようになる必要があると考えています。今回の留学で授業中もそれ以外の時間も英語を使いコミュニケーションすることで伸ばした英語力をプログラミングの学習(英語の文献が読めるようになるなど)に活かしたいです。それによって最新の情報や、より多くの情報を得られるようになり、グローバル社会の中で求められる技術者に近づくことができると思います。

・将来就職した時に外国の人と仕事をしなければならないと想定されます。そのため、留学の中で身につけたコミュニケーション能力、国際感覚などで、言語や価値観の違いに惑わされずに判断し仕事ができる技術者になりたいと思っています。また、留学で培ったコミュニケーション能力をクライアントとの交渉の際や、開発チーム内での情報共有などに活かすこともできると思います。それらのことで、課題解決などがスムーズに行えるようになります。留学中に調査した「今必要とされる技術者」になるためのスキルなどを身につけ、今日の変動する社会に対応できる技術者になるための日々の学習に役立てたいと思います。

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

4 留学中の活動

- (1) トビタテ！留学 JAPAN では、留学中に学修する授業や活動のほかに、自身で計画して行う「自主活動」(例：現地の高校生と交流したり、共に学んだりする活動、留学目的に沿った調査活動)に取り組んでもらいます。どのような活動を行いたいのか、また、なぜその活動を行いたいのかについて具体的な活動内容(いつ・どこで・誰に対して・何を・どのように)を記入してください。
- なお、自身で計画した活動であれば、自主活動を行う場所は留学先機関であってもかまいません。

調査テーマ:今日のグローバル社会で求められている技術者とは

調査対象 :留学先の学校の先生方(この学校で学び今実際に外国の方と働いている人に話を聞く)

質問内容 :・今日のグローバル社会で必要だと思うスキルはなにか。

・一つ目の質問の中で一番必要だと思うスキルとその理由。

・出身国の違う人と一緒に働く中で驚いたこと。などをインタビューする。

その他 :調査は学校で、空き時間などのインタビューできそうなときに行う。

私はグローバル社会で求められる技術者になるためには国際規模の広い視野を持っている、英語ができるといったことが必要だと考えています。しかし、あくまでも私の考えであって実際はどうなのか知りませんし、他にも必要なことがあると思います。また、身近に海外の方と働いている人がいないためそれらの事を聞くことができませんでした。今回の留学先の学校の講師の方の出身国は一国ではないため、実際の経験談や意見を聞くことができると思います。今日のグローバル社会で求められている技術者とは何かを調査し、それらを将来技術者になるための指標にしたいと思います。

- (2) トビタテ！留学 JAPAN では、留学中に日本や日本の地域の良さを発信する「アンバサダー活動」に取り組んでもらいます。どのような活動を行いたいのか、また、なぜその活動を行いたいのかについて具体的な活動内容(いつ・どこで・誰に対して・何を・どのように)を記入してください。

1. 日本の伝統的な楽器である篠笛を披露する。

→私は小学生の時から和太鼓を習っているので、叩いているところを動画にとってそれを見せたり、篠笛を実際に吹いてみせたりして独特の音色を楽しんでもらう。

2. 日本のお祭りを紹介する

→夏祭りや、私の住んでいる地域独自の祭りの写真などを撮ってアルバムにして持っていく、それを見せて日本の「祭り」を紹介する。

3. 折り紙を持っていき一緒に作る。

→折鶴などの折り紙の代表的ともいえるものから、少し難しい折り方も教えて一緒に作り、それを飾ったりして楽しむ。

講師の方や地元の方など、留学先で出会った人に少しでも多く日本のことや日本の良さを知ってもらえるような「アンバサダー活動」を目指してこれらの活動を行います。

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

5 留学中のリスク管理

留学先の国や地域が、日本の環境とどのような点において異なるかを調べ、その違いに対して、どのように対応していくのかを具体的に記入してください。

1. スリや置き引きに気をつける

→荷物からは目を離さず、貴重品は肌身離さず持つておく。また、大金を持ち歩かないようにする。

2. ジェスチャーの違いに気をつける。

→例えば親指と人差し指で輪を作る仕草は日本では「OK」、「問題なし」のような意味でも使われるが、フィリピンでは「お金」という意味を表す、首を横に傾けるしぶさが「賛成」の意を示すなどの違いがあるためそれらの違いから誤解しないように、また、誤解されないようにあらかじめ調べていく。留学中に話していて違和感を感じたらどういう意味なのかを聞く。

3. 治安の悪い場所へ行くことはできるだけ控える。

→フィリピンの治安は年々良くなりつつあるそうだが、まだ治安の悪い地域もあるので、あらかじめ調べていき、また、出かける際は現地の人にその場所へ行って安全かを確認する。

6 帰国後の活動

トビタテ！留学 JAPAN では、帰国後に海外の魅力や留学経験を周りに伝える「エヴァンジェリスト活動」に取り組んでもらいます。どのような活動を行いたいのか、また、なぜその活動を行いたいのかについて具体的な活動内容（いつ・どこで・誰に対して・何を・どのように）を記入してください。

1. 留学先で学んだ知識を活かしてWebサイトなどを作り、留学の体験を書く。

→留学の様子:学習環境、生活の様子、食べ物など。

→留学しての感想:留学して良かったこと、留学先で困ったこと、留学して変わったこと。

2. SNSなどを利用し、留学に興味を持っている人が相談できる場を作る。

→私は今回トビタテに応募する際に、以前トビタテで留学した先輩からその時の話を聞いたり相談に乗ってもらったりしました。しかし、それ以外で相談できる場はあまりないと感じています。留学の経験を、次に留学にいきたいと思っている人の疑問や悩みの解決のために役立たせたいので気軽に相談できるような場を作ろうと思います。

3. 私の周りの人に留学で体験したことを伝える。

→学校の人:留学の体験を話せる時間があるため、それを利用して発表します。

→住んでいる地域の人:地域の文化祭などで留学の体験を発表し、特に小学生や中学生に留学の良さを知ってもらいたいと思います。

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

7 留学プログラムの概要【資料貼付 A4サイズ2枚以内】

留学の目的や学びたい、経験したいことと留学プログラムに整合性があるかどうかを確認します。あなたの留学プログラムが分かる資料（留学先機関のホームページ、参加予定プログラムを主催する業者・団体の制作したパンフレットのコピー等）の画像データを枠内に貼り付けてください。

また、資料は2ページ以内に収めてください。

資料貼付枠 (本ページに貼り付けて構いません)

<注意事項>

下記①・②以外の内容（学校案内や料金案内、業者の他のプログラム等）は貼付しないでください。

① 参加する留学プログラムの全体スケジュール

…1週間（1コース）の時間割、カリキュラム、日程表 等

② 学修する科目やプログラムの内容

…学修する授業の科目名・参加するプログラム名が分かる資料、授業やプログラムで学ぶ内容が分かる資料 等

※ プロフェッショナル分野については、「外国語（語学）のみ」を学修する計画は不可とします。

※ 縮小して貼り付ける際は、文字が判別できることを必ず確認してください。
(文字が判別できない資料は「提出なし」とみなします)

※ 留学先機関において来年度（留学時）の時間割やプログラムの詳細が決まっていない場合は今年度のものを貼付してください。

※ 科目名やプログラム名により学ぶ内容が分からない場合は、内容が分かるように言葉を補足してください。(例: Basic course、Activities)

※ 日本語以外の資料の場合、適宜日本語訳をつけてください。

印刷物での提出の場合
ホチキス止め厳禁
(クリップ止め)
A4・片面印刷

(様式1－3)

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

7 留学プログラムの概要【資料貼付 A4サイズ2枚以内】

資料貼付枠

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

8 写真貼付、自己PR【様式自由・手書き可】

写真貼付欄

- ・ **ご自身の顔が分かる写真を右の枠内に貼り付けてください。**
- ・ 自己PRに関しては、留学に対する熱意が伝わるような内容を含めてください。
文章、イラスト、写真など、表現方法は自由です。
A4サイズ2枚に収まるように作成してください。

正面、上半身の写真を
貼り付けてください。
(3×4cm、カラー・
白黒どちらでも可)

印刷物での提出の場合
ホチキス止め厳禁
(クリップ止め)
A4・片面印刷

(様式1-3)

官民協働海外留学支援制度
～トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム【高校生コース】～
プロフェッショナル用
第6期 留学計画書

8 自己PR【様式自由・手書き可】